

平和祈念展 in 栃木

入場無料

戦争の時代を生き残った人たちの記憶を受け継ぐ



2024

12.18 水 ▶ 24 火

開場
時間

10:00 - 18:00
(最終日は16:00まで)

会場

栃木県総合文化センター
1階 第1ギャラリー (栃木県宇都宮市本町 1-8)

[主催] 帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館 [総務省委託])

[後援] 栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、宇都宮市教育委員会、下野新聞社、NHK 宇都宮放送局

- ①戦争や事変の際、自宅待機している男性を軍隊に呼び出すために発行された臨時召集令状(赤紙)
- ②抑留者が飢えに耐えかね、袖の部分をパンと交換した防寒外套
- ③鹿沼市出身の抑留者が収容所から故郷の家族に送った往復葉書の往信面
- ④満州から日本へ引き揚げる途上で母娘が背負ったリュックサック

平和祈念展 in 栃木

入場無料

帰還者たちの記憶ミュージアム(平和祈念展示資料館 / 東京都新宿区)は、さきの大戦における兵士、戦後強制抑留者(シベリア抑留者)、海外からの引揚者が体験した出来事をより多くの人たちに伝えるため、全国各地で展示会を開催しています。

本展では、当ミュージアムの所蔵品を中心に、実物資料や絵画、写真、模型を展示します。あわせて鹿沼市出身のシベリア抑留者が収容所から故郷の家族へ宛てた葉書など、栃木県にゆかりのある資料も紹介します。

兵士

国のために家族を残して戦地に向かい、命をかけて戦い、苦しくつらい体験をされた方々です。



栃木県出身の満川元行軍医が出征先の東部ニューギニアで描いたスケッチ

戦後強制抑留者 (シベリア抑留者)

戦争が終わったにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルの寒さが厳しい地域において、わずかな食べ物と劣悪な環境の中で、過酷な労働に従事させられた方々です。



酷寒のシベリアで抑留者が森林伐採などの作業時に使用した手袋

海外からの引揚者

敗戦によって生活のすべてをなくし、命さえ危険な状況で、必死の思いで日本に戻ってこられた方々です。



日本に引き揚げる際に、4歳の娘に着せようと、母親が亡くなった赤ん坊の布おむつで作ったワンピース

イベントのご案内

予約不要

参加者には記念品を進呈

ギャラリートーク

学芸員が展示解説を行います。

12 | 21(土)、22(日)

各日14:00開始(約40分)

クイズラリー

展示資料にまつわるクイズに挑戦しましょう。

開催期間中は

いつでもご参加いただけます

会場

栃木県総合文化センター

1階 第1ギャラリー (栃木県宇都宮市本町1-8)

[電車をご利用の場合]

- ・JR宇都宮線「JR宇都宮」駅下車、西口よりバスで「県庁前」または市内循環バス「総合文化センター前」下車、徒歩で約3分。またはタクシーで約5分(約1,600m)
- ・東武宇都宮線「東武宇都宮」駅下車、徒歩で約10分(約700m)

[バスをご利用の場合]

- ・「県庁前」「東武駅前」停留所下車、徒歩で約3分(関東バス)作新学院、戸祭、江曾島行きなど
- (JRバス関東)作新学院、駒生行き

[自動車をご利用の場合]

- ・東北自動車道 鹿沼ICから約9km 約30分

※会場には駐車場がありません。

周辺の有料駐車場もしくは県庁地下駐車場をご利用ください。



帰還者たちの記憶ミュージアム
MEMORIAL MUSEUM FOR SOLDIERS, DETAINEES
IN SIBERIA, AND POSTWAR REPATRIATES
平和祈念展示資料館[総務省委託]

東京都新宿区西新宿2-6-1新宿住友ビル33階

Tel. 03-5323-8709

<https://www.heiwakinen.jp>



@heiwakinen

